【実施区域・面積】

千葉県、　18.3248ha

【生態系タイプ】

水田

【実施区域の状況】

本サイトは、千葉県野田市の南部に位置し、斜面林に囲まれた谷津田環境が形成されている。市の条例による斜面林の保全や、ビオトープとして整備を進めるとともに、農薬の利用を抑えた環境保全型農業等に取り組んでいる。また、国の特別天然記念物コウノトリの飼育施設もあり、コウノトリをシンボルとした生物多様性の保全・再生のモデル地区となっている。利根運河から江川地区に通じる水系エコロジカル・ネットワークづくりにも取り組んでおり、カヤネズミやヘイケボタルなど里地里山に特徴的な動植物が多数確認されているほか、豊かな里地里山生態系のシンボルである猛禽類の休息地として渡りなどが確認されている。

【目標】

'国の特別天然記念物のコウノトリをシンボルとした生物多様性の保全・再生のモデル地区となっている江川地区において、多様な在来の動植物が生息・生育する里地里山の生態系を維持する。

また、みどり豊かな自然環境を次世代の子ども達に継承していくため、生物多様性の普及・啓発のための環境教育を行う。

【主な活動内容】

豊かな自然を体験できる場であり、国の特別天然記念物であるコウノトリをシンボルとした生物多様性、自然再生事業を進める。全国の市町村では、唯一コウノトリの飼育から放鳥、環境整備を行っており、コウノトリによる野外繁殖も実現しました。湿地の再生や水田の一部に常時湛水状態の箇所を設け、導排水管理のための水路整備や水路と水田の連続性を確保するための魚道整備等や池の掘削を継続的に行う。

また、第2期　生物多様性のだ戦略に基づき、市内の守るべき13拠点における生物多様性の保全を合わせて行う。

【モニタリング計画】

第2期　生物多様性のだ戦略に基づき、基本的に2年に1度の頻度で、市内13拠点で社会環境調査を実施している。

調査は、生物多様性のだ戦略自然環境調査員が中心となって行い、四季を通じて植物、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類を対象とする。



活動内容が分



【実施体制】

第2期　生物多様性のだ戦略策定時には、長谷川　雅美氏（東邦大学名誉教授）に依頼し、会長として助言を頂いている。

【計画期間】

令和7年9月～令和12年3月